

「SSHフィールドワーク（物理）」を開催しました

8月26日（月）六ヶ所村にある青森県量子科学センターと国立研究開発法人六ヶ所核融合研究所を訪問し、SSHフィールドワークを実施しました。原子力や次世代エネルギーにおける現状や課題を認識し、地球の未来を自分事として考える機会とすることをねらいとし、1年生21名、2年生5名の計26名の生徒が参加しました。先月の科学技術体験セミナーに参加した生徒が多数を占め、物理原子分野の1つの学びとして取り組みました。

青森県量子科学センターでは、サイクロトロン加速器を用いた放射線装置の原理について説明を受け、実際に装置を見学させていただきました。また、六ヶ所核融合研究所では、開発に携わる研究者との交流やミニ実験など、ワークショップ型の実習を通して非常に有意義な時間を過ごしました。

□活動の様子□



★生徒の感想★

- 放射線や核エネルギーには危険なイメージをもっていたが、国や県の施設ではその影響をよい方向へ流したり、抑制したりしながら有効利用に取り組んでいることがわかった。
- 実際に加速器や未来の発電などの研究機器を見て、たくさんの人やモノが関わっていることに驚いた。世界でも最先端の技術が青森県の六ヶ所に存在することに、県民として誇らしく感じた。
- 今まで無知に近かった核分裂と核融合について学ぶことができた。最も印象に残っているのは、国際協力の大切さだ。英語で当たり前のようにコミュニケーションをとる研究者を見て、これからの授業で英語を大切にしたいと思った。
- 第一線の研究者から実際に話を聞くことがほとんどなかったのでとても新鮮だった。研究職につくことの楽しさを知ることができ、このような仕事について研究してみたいという気持ちが湧いてきた。